

各指標の説明①

【指標1】

本ファンドで調達した資金を活用して建設する新工場では、地元・南三陸地域産の木材を使用します。これにより、地元の林業者の収入増加に貢献し、地域経済を活性化させることを目指します。

【指標2】

本ファンドで調達した資金を活用して建設する新工場では、FSC認証を受けた木材を使用します。FSC認証は環境、社会、経済の便益に適い、きちんと管理された森林からの製品を目に見える形で消費者に届け、それにより経済的利益を生産者に還元する仕組みです。（出典：https://jp.fsc.org/jp-ja/about_FSC_certificate）
FSC認証を受けた木材を使用することにより、森林保全に配慮し森林資源を有効活用することを目指します。

【指標3】

本ファンドで調達した資金を活用して建設する新工場では、地元由来の再生可能エネルギー発電による電力を使用します。これにより、地域内でのエネルギー循環（エネルギーの地産地消）及び温室効果ガス排出削減への貢献を目指します。

【指標4】

本ファンドで調達した資金を活用して建設する新工場の操業にあたっては、毎年省電力目標を策定し、その達成に向けて取り組むことで、温室効果ガス排出削減への貢献を目指します。

各指標の説明②

【指標5】

営業者が原料として仕入れるサメは地元・気仙沼港に水揚げされたものであり、国際自然保護連合（IUCN）の「保全状況の評価リスト」上において絶滅のリスクが低いと判断されたものです。今後も引き続き、仕入れたサメの絶滅リスクが低いことについて、水揚証明書により確認することで、地元伝統産業の継承と水産資源保全との両立を目指します。

【指標6】

営業者が原料として仕入れるサメは地元・気仙沼港に水揚げされたものであり、資源保全に十分留意して漁獲されていることを営業者自身が確認しトレーサビリティを確保しています。今後も引き続き気仙沼産のサメの仕入にこだわることで、地元伝統産業の継承と水産資源保全との両立を目指します。

【指標7】

現状、営業者が仕入れたサメのうち、フカヒレのみを加工・販売、その他の部位はサメ肉業者等は無償で提供しています。ファンド対象事業では、現状無償で提供しているフカヒレ以外の部位を自社で加工・販売することにより、サメの高付加価値化につながります。これにより、地域の水産業が持続可能なものとなることを目指します。